

広報 市民リポ一



柴田リポ一ター

大館警察署を訪ねて

大館の交通事故発生状況について

リポ一ター 柴田 純さん(清水町)

私は一カ月ほど前に普通自動車の免許を取得しました。今の私は、車の免許を取ったし、親から車を買ってもらえるということに精神的に浮かれています。このまま運転すると交通事故をおこす気がします。

昨年は、山館トンネルでの車の正面衝突による死亡事故や私が通学している秋田桂城短大前での死亡事故など大きな事故が発生しています。私の地元である平鹿郡内(十文字町)と比較すると、大館は交通事故が多い印象を受けますが実際のところどうなのでしょう。そのため、大館警察署を訪ね、大館の交通事故発生状況をリポ一トします。

交通事故の原因と特徴

平成十一年の発生概況は下図のとおりですが、大館市の事故確率(自動車免許所有者人口当たりの件数・死者数・傷者数)は県平均よりも高いものとなっています。事故の原因は、件数では安全不確認が一番多く、前方不注意、動静不注意、ハンドル等操作不適、スピード関連の順になっていますが、死者数ではスピード関連が一番多くなっています。事故の特徴としては、県内では高齢者の死亡と酒酔い運転、スピード違反による死亡が増加しており、交差点での死亡事故も増加し

平成11年中の交通事故発生状況

| 区分 | 件数 | 死者数 | 傷者数 |
|-----|-------|-----|-------|
| 全県 | 4,864 | 102 | 5,839 |
| 大館署 | 354 | 8 | 446 |
| 大館市 | 307 | 8 | 378 |
| 比内町 | 23 | 0 | 33 |
| 田代町 | 24 | 0 | 35 |

ています。また、シートベルトを着用しないかたの死亡事故も多いとのことでした。大館署管内(大館市、比内町、田代町)では一月、五月、七月に事故が多く発生し、

市町村道での事故が約半数となっています。

なお、大館署管内での件数は平成八年の三百八十一件をピークに毎年減少しており、今年の五月までの件数も昨年より減少しています。

取り締まりの強化

これからの時期に街中に現れ、騒音をたてて走る暴走族の交通死亡率が高いことから、大館警察署では暴走族への取り締まりを強化する方針とのこと。

また、七月一日から厚底靴での運転は違反の対象となり、厚底靴だけに限らず、ハイヒールやげたなどの運転のさまたげとなるものも違反になるそうです。

交通死亡事故は

殺人と同じです

殺人事件が起こると、テレビや新聞は大きく取り上げます。交通



山田交通課長(右)に取材中の柴田リポ一ター

死亡事故の場合はどうでしょうか。ほとんどが小さくしか取り上げられませんが、罪の重さも殺人の方が重く、交通事故で死亡させた方が軽い。ちょっとおかしくないでしょうか。被害者にしてみれば、殺人で殺されるのも、交通事故で殺されるのも同じです。車というのはとても便利なものですが、一歩間違えると凶器に変わります。平成十一年の交通事故による死者数は全国で約九千人です。車を運転するならば、社会人としての責任を持たなければいけません。

おわりに

全国で交通事故は一時間に一回のペースで起きています。このことは、自分自身も事故に合う確率が高いといえます。ほとんどの事故はちょっとした不注意によっておきます。これから私は運転していくことになりましたが、今回のリポ一トを忘れないで安全運転を徹底したいと思います。

なお、お忙しい中をリポ一トに協力いただいた大館警察署山田交通課長さんに感謝申し上げます。



大破した事故車にびっくり!